

高速ネットワークの確保による観光振興の支援

課題

伊豆地域には全国有数の観光施設が豊富に立地していますが、高速道路ネットワークはなく、観光シーズンの渋滞や線形不良、幅員不足等でアクセス性が低い状況です。

効果

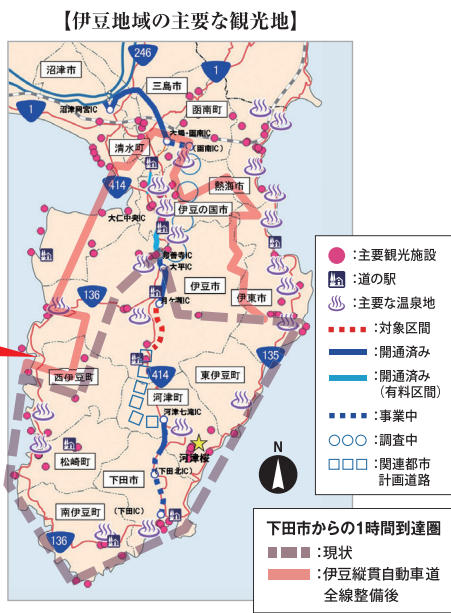
移動時間の短縮により観光圏域が拡大し、観光客の増加が期待されます。



下田市からの1時間圏域の拡大が期待

出典:主要観光施設は令和元年度静岡県観光交流の動向調査地点一覧より作成

出典:下田市からの1時間到達圏は下記の条件で算定【現状】ETC2.0ブロープ情報(2022年10月休日7-19時平均)
【整備後】未開通区間は設計速度を用いて算出(河津下田道路(Ⅰ・Ⅱ期)、対象区間は設計速度80km/hとして算出)



救急医療施設等への速達性・確実性の向上

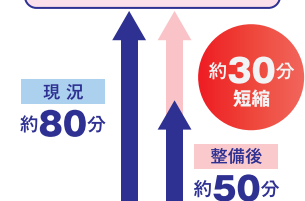
課題

伊豆地域南部には第三次救急医療施設がなく、早期の治療が必要である心疾患の死亡率は、全国平均の約2倍と高くなっています。

効果

伊豆地域南部から、伊豆地域北部にある第三次救急医療施設までの救急搬送時間が短縮します。

【搬送時間の短縮】



上図出典:【現状】ETC2.0ブロープ情報(2022年9月平日7-19時平均)
【整備後】未開通区間は設計速度を用いて算出(河津下田道路(Ⅰ・Ⅱ期)、対象区間は設計速度80km/hとして算出)
右図出典:令和3年度全国道路・街路交通情勢調査



災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保

課題

南海トラフ巨大地震等の発生後、内陸部の対象区間は、道路啓開作業の最優先路線に位置づけられていますが、緊急輸送が可能なレベルまでの復旧に1週間以上かかる想定です。

効果

災害発生時に代替性が確保され、信頼性の高い道路ネットワークが構築されます。

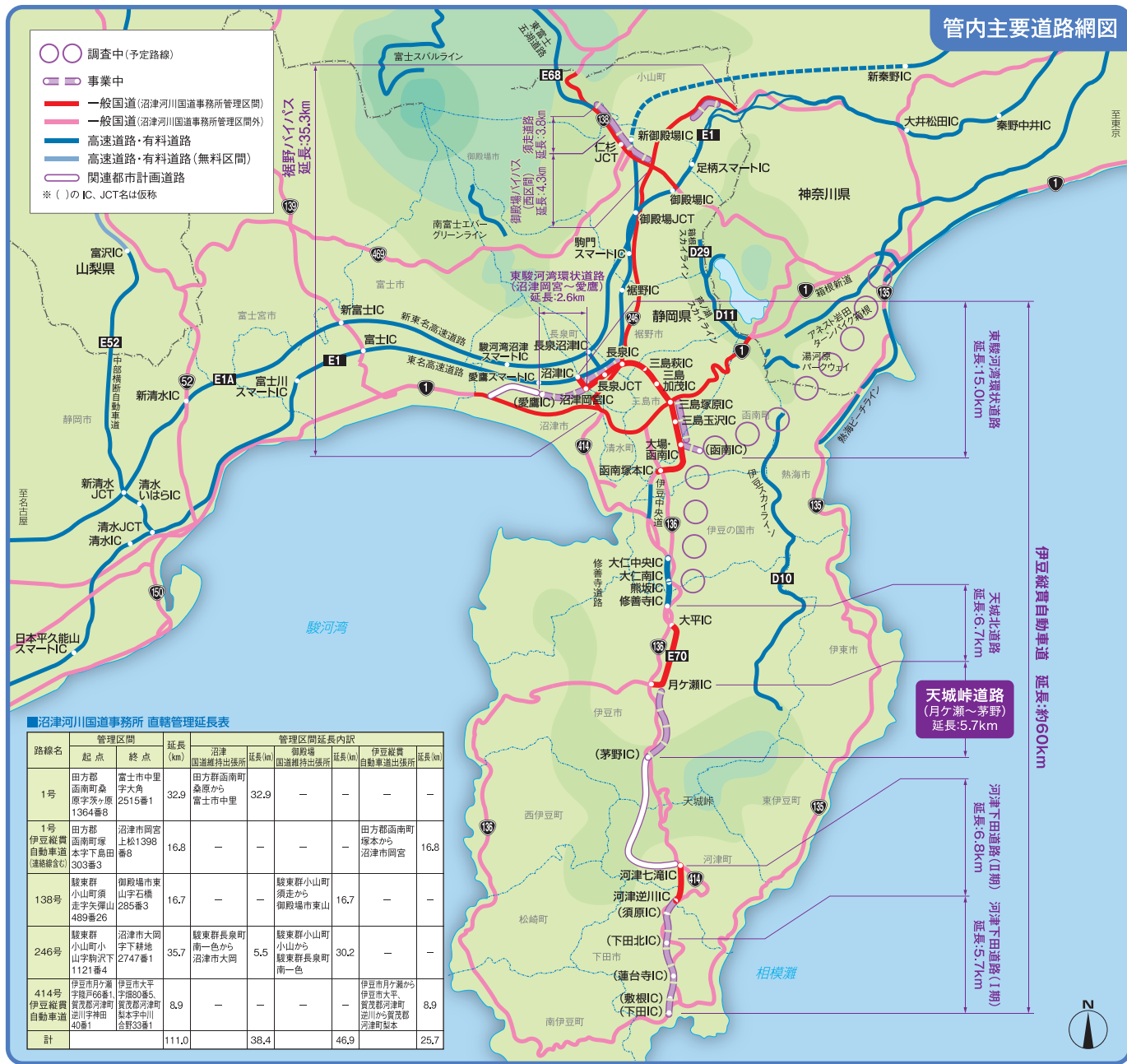


強靱な輸送路を確保
迅速な復旧が可能に

出典:内閣府南海トラフ巨大地震の被害想定(第二次報告)(H25.3)より作成

沼津河川国道事務所の道路事業

静岡県東部・伊豆地域における社会資本の整備を担当しています。道路事業としては、伊豆縦貫自動車道、一般国道1号、138号及び246号の整備及び維持管理を担当しており、それらに関する調査も実施しています。



国土交通省 沼津河川国道事務所
〒410-8567 沼津市下香貫外原3244-2
E-mail(代表): cbr-numazu@mlit.go.jp

総務課	(055) 934-2001
経理課	(055) 934-2002
用地第二課	(055) 934-2004
工務第二課	(055) 934-2007
品質確保課	(055) 934-2008
計画課	(055) 934-2010
道路管理課(技術)	(055) 934-2006
道路管理課(管理)	(055) 934-2017

伊豆縦貫自動車道出張所
〒410-2416 伊豆市修善寺307
☎(0558) 74-0551



下田推進室
〒415-0035 下田市東本郷1-6-13
☎(0558) 38-0445



沼津国道維持出張所
〒411-0943 駿東郡長泉町下土狩1027-1
☎(055) 986-1122

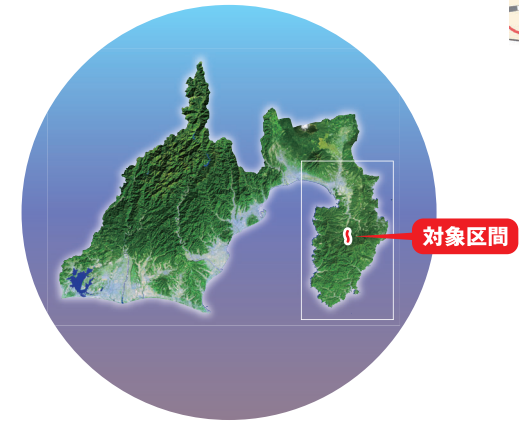
御殿場国道維持出張所
〒412-0026 御殿場市東田中1845-1
☎(0550) 82-2488

あまぎとうげ
天城峠道路のあらまし

天城峠道路は、高規格道路「伊豆縦貫自動車道」の一部を構成し、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保、救急医療施設等への速達性・確実性の向上、高速ネットワークの確保による観光振興の支援等を目的に計画された自動車専用道路です。

令和5年度に、天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)を新規事業化しました。

事業概要図



計画概要

区間	静岡県伊豆市矢熊～伊豆市湯ヶ島
延長	5.7km
道路規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	2車線

標準横断面図 (単位:m)

